

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	水質管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課				
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	池田 輝昭				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	特定施設及び悪質下水道排水施設所有者	意図	公共下水道に接続した事業所の汚水排水の水質を調査し、排水基準を超えた水質の排水を放流している事業主に対し、排水設備の改善を指導する。
事業内容	排水される汚水を採取し水質調査を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和61年4月の公共下水道供用開始に合わせ水質調査を開始した。供用開始区域の拡大に伴い水質検査が必要となる施設が増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	水質対象施設	59	60	62	
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						定期的に排水の水質を調査することにより、終末処理場での水処理に対する負荷の削減に努める。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,838,400	4,195,056	3,863,290			
事業費(b)(円)		383,400	430,056	430,790	<採取場所> ・特定施設（悪質含む） ・教育委員会（学校プール） ・上下水道局（浄水場）		
うち一般財源		383,400	430,056	430,790			
職員給与費(c)(円)		3,455,000	3,765,000	3,432,500			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	対象施設（約62箇所）に対し、水質検査を実施し、基準を超える汚水を排除する事業所へ再検査を依頼し、適正排水等の指導を行った。	③取組の課題	供用開始区域の拡大とともに、水質検査を要する施設が増えている。このため、検査コストも増える傾向にある。
②今年度(H28)に実施した取組	特定施設及び悪質下水道排水施設の適正な水質検査を実施した。	④今後の改善計画	引き続き水質の監視に努めていく。特に、大幅に水質基準を超過する事業所への指導の徹底を図る。